

6月26日(土) 第60回総会 リモート併用で開催!

関良基さん(86期)が講演

「日本の近代化の魁 赤松小三郎と松平忠固」

関東同窓会では6月26日(土)、千代田区一ツ橋の如水会館で第60回総会を開催します。今年は新型コロナウイルス感染症予防対策として総会と講演会のみを行い、恒例のアトラクションと懇親会は中止にします。参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしています。



関良基さん

講演会講師の関氏は京都大学農学部林学科を卒業、同大学院農学研究科博士課程を修了され、現在は拓殖大学教授として主に森林の保全・治水の研究がご専門です。2013年に上田高校関東同窓会の赤松小三郎研究会発足を契機に、赤松小三郎や松平忠固の研究も開始しました。現在はこの両分野の研究の第一人者です。講演では、維新前に日本初の議制民主主義の憲法構想を建白した赤松小三郎と、老中として開国を断行し生糸輸出を振興した上田藩主の松平忠固の活躍について、最新の研究成果とともにご講演いただきます。

講演会講師の関氏は京都大学農学部林学科を卒業、同大学院農学研究科博士課程を修了され、現在は拓殖大学教授として主に森林の保全・治水の研究がご専門です。2013年に上田高校関東同窓会の赤松小三郎研究会発足を契機に、赤松小三郎や松平忠固の研究も開始しました。現在はこの両分野の研究の第一人者です。講演では、維新前に日本初の議制民主主義の憲法構想を建白した赤松小三郎と、老中として開国を断行し生糸輸出を振興した上田藩主の松平忠固の活躍について、最新の研究成果とともにご講演いただきます。

総会、講演会は新型コロナウイルス感染症予防対策として、リモート併用で開催します。参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしています。

関良基さんのプロフィール

上田市出身。上田高校から京都大学農学部林学科卒業、同大学院農学研究科博士課程修了。早稲田大学ア

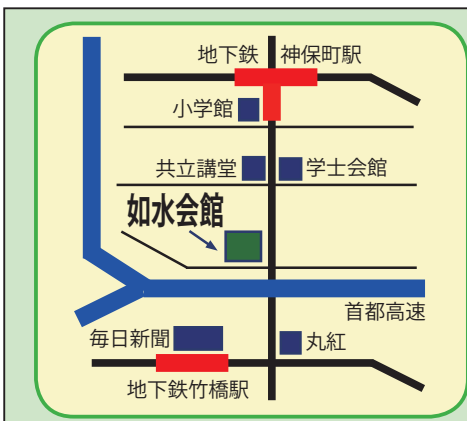


上田高校ギターマンドリンクラブ同窓会 (録画・録音会)
時：2020年11月21日(土) 於：上田高校同窓会館

シア太平洋研究センター助手、(財)地球環境戦略研究機関客員研究員等を経て、現在は拓殖大学教授。

「新企画班OB・OGの紹介コーナー」
2回目はギター・マンドリンクラブ

今号では、2001年廃部後に現役復帰されたOB・OGの皆様の活動の様子が紹介されています。また貴重な50年前の写真にもご注目ください。(11ページに続く)



第60回総会

【日時】 2021年6月26日(土)

12:30 受付開始

13:30~15:30 総会、講演会

【会場】 千代田区一ツ橋2-1-1 如水会館 (☎03-3261-1101)

【会費】 無料 ※ご寄付は謹んで承ります。

※準備の都合上、会場出席かリモート参加のいずれかを返信用はがきでお申し込み下さい。尚、会場の収容人数の関係上、定員を超えた場合、会場へのご出席をお断りする場合がございます。ご了承をお願いいたします。

【交通】▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車

A8, A9 出口 徒歩4分

▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b 出口 徒歩4分

今回はアトラクション・懇親会はありません

“想いを繋ぐ同窓会に”

関東同窓会会長 近藤 正昭(69期)



“実際に会って、タッチして、懇談する”ことがこれほど貴重だと思ったことはありません。それほどこの1年以上にわたるコロナ禍の影響が大きいと感じています。また、今年はその東日本大震災から10年。被災者だけでなく多くの人があの時刻に自分はどこで何をしていたか「点」としてよく覚えているといいます。今のこの期間も「面」として記憶に残っていくのでしょうか。

とがこれほど貴重だと思ったこと

はありません。それほどこの1年

以上にはわたるコロナ禍の影響が大

きいと感じています。また、今年

はその東日本大震災から10年。被災者だけでなく多くの人があの時刻に自分はどこで何をしていたか「点」としてよく覚えているといいます。今のこの期間も「面」として記憶に残っていくのでしょうか。

関東同窓会は、先輩のご努力

や、会員の協力により長野県

の活動をしていると自負してい

ますが、倉沢副会長(69期)が東京

同窓連(長野県高等学校同窓会東

京連合会)の役員を兼任している

こともあり、こんな時期こそと

して、他校同窓会の情報収集を

始めました。一部を記事として掲載

しましたが、参考になることも多

く、今後運営に活用していきます。

「上田高校NOW」にも記載があ

ります。今年度の母体卒業式、入

学式は、規模をかなり縮小して

開催でした。母校を共通の原点と

した、大切な“想い”を繋ぐ同窓

会でありたいと考えています。同

窓会の活動も、いましばらくはコ

ロナ禍の影響があると思いま

す。どうぞよろしくお願ひ申し上

げます。

上田高校関東同窓会は1月16日

(土)、千代田区一ツ橋の日本教育

会館で恒例の新年会を開催した。

今回は新型コロナウイルス感染

予防対策として懇親会は行わず、

かつ、初のリモート(Zoom)

参加併用の講演会のみで新年会と

なった。当日は参加総数65名で、

内リモート参加者は幅広い世代か

ら予想を超える46名(49期〜10

4期)であった。大きな機器トラ

ブルも無く、円滑に行うことがで

た。

あの著名な島岡御大が長野県出

身であること、また、話の後半に

登場するかつて母校野球部監督の

木村頌一氏と同郷で、かつ生きた

時代も重なり、更に島岡御大は木

村監督を尊敬していた、などの話

は驚きの連続だった。

また、母校初の甲子園出場に関

しても、多くの秘話を伺うことが

できた。……母校

野球部の昭和32年

夏の初めての甲子

園出場は、当時の

中沢睦次郎校長と

木村頌一監督の存

在が可能にした。

当時の野球部員の

帽子のイニシヤル

は、「U」ではなくて「M」(上田

松尾のM)だった。当時母校は信

越代表として甲子園に出場した

(都道府県で各一校代表となるの

は翌年から)。信越大会の前の長

野県大会では松本県ヶ丘に準決勝

で負けて、長野県ベスト4として

信越大会に出場、そして信越大会

では決勝で再度松本県ヶ丘と戦

い、勝って甲子園出場を決めたこ

と、等々。

他には、母校OBで野球殿堂入

りされているお二人(宮原清さん、

桜井弥一郎さん)の紹介もあ

った。

講演の最初と最後に、昭和62年

に母校が2回目の夏の甲子園出場

を決めた瞬間(サヨナラ勝ち)の

ラジオ実況中継と校歌の歌声を流

していたかどうかという粋な演出もあ

り、久々に母校愛を呼び覚ます大

変心に残る講演会だった。

リモートのスクリーン画面の前で挨拶を

する近藤会長

講演中の丸山清光さん

ゆとりのある講演会場

重要課題の一つである会の財政は、2020年度決算で収支はプラスとなりましたが、関連行事等の縮小、延期、中止などにより、大切な基金を大きく取り崩すことなく、良しとはしませんが縮小均

なるといいます。今のこの期間も「面」として記憶に残っていくのでしょうか。

関東同窓会は、先輩のご努力や、会員の協力により長野県の活動をしています。自負していますが、倉沢副会長(69期)が東京同窓連(長野県高等学校同窓会東京連合会)の役員を兼任していることもあり、こんな時期こそと

して、他校同窓会の情報収集を始めました。一部を記事として掲載しましたが、参考になることも多く、今後運営に活用していきます。「上田高校NOW」にも記載があります。今年度の母体卒業式、入学式は、規模をかなり縮小して開催でした。母校を共通の原点とした、大切な“想い”を繋ぐ同窓会でありたいと考えています。同窓会の活動も、いましばらくはコロナ禍の影響があると思えます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

上田高校関東同窓会は1月16日(土)、千代田区一ツ橋の日本教育会館で恒例の新年会を開催した。今回は新型コロナウイルス感染予防対策として懇親会は行わず、かつ、初のリモート(Zoom)参加併用の講演会のみで新年会となった。当日は参加総数65名で、内リモート参加者は幅広い世代から予想を超える46名(49期〜104期)であった。大きな機器トラブルも無く、円滑に行うことができた。

あの著名な島岡御大が長野県出身であること、また、話の後半に登場するかつて母校野球部監督の木村頌一氏と同郷で、かつ生きた時代も重なり、更に島岡御大は木村監督を尊敬していた、などの話は驚きの連続だった。

また、母校初の甲子園出場に関しても、多くの秘話を伺うことができた。……母校野球部の昭和32年夏の初めての甲子園出場は、当時の中沢睦次郎校長と木村頌一監督の存在が可能にした。当時の野球部員の帽子のイニシヤルは、「U」ではなくて「M」(上田松尾のM)だった。当時母校は信越代表として甲子園に出場した(都道府県で各一校代表となるのは翌年から)。信越大会の前の長野県大会では松本県ヶ丘に準決勝で負けて、長野県ベスト4として信越大会に出場、そして信越大会では決勝で再度松本県ヶ丘と戦い、勝って甲子園出場を決めたこと、等々。

他には、母校OBで野球殿堂入りされているお二人(宮原清さん、桜井弥一郎さん)の紹介もあった。

講演の最初と最後に、昭和62年に母校が2回目の夏の甲子園出場を決めた瞬間(サヨナラ勝ち)のラジオ実況中継と校歌の歌声を流していたかどうかという粋な演出もあり、久々に母校愛を呼び覚ます大変心に残る講演会だった。



リモートのスクリーン画面の前で挨拶をする近藤会長



講演中の丸山清光さん



ゆとりのある講演会場



2021年総会に向けて

総会実行委員長 掛川治男(73期)



今年の上田高校 関東同窓会総会実行委員長

を務めさせていただきます掛川治男(73期)です。ご案内の通り、今年の総会はコロナ禍の中で、総会と講演会の実施となりまして、実行委員は73期、78期を中心に83期、88期、93期が務めさせていただきます。

私が関東同窓会総会に初めて関わったのは6年前の2015年のことでした。NHKの関連会社に勤務していた私を、当時の高梨会長が訪ねてこられたのです。2016年に放送される予定のNHK大河ドラマ「真田丸」の関係者に、総会で講演してほしい、という依頼でした。地元上田が舞台ですし、私自身もこのドラマの開発に多少関わったこともあったので、「真田丸」のプロデューサーを講師として引っ張り出す算段をしました。

今年のこと、250人を越える先輩・後輩たちが真剣に講演に聞き入り、懇親会で大いに盛り上がる姿が新鮮で驚きでした。最後に校歌の大合唱になり、本当に久しぶりに自分も「秋玲瓏の空衝きて」と口ずさんでいました。改めて同窓会の存在意義を感じた日になりました。

こんなことがあって、5年後の2020年6月の総会実行委員長を仰せつかりました。総会に向けて、同期の動員などそろそろ準備をしなければ、と思っていた頃、新型コロナウイルスの感染が広がってしまいました。あとは皆さんご存じの通り、去年は書面での総会ということになってしまいました。

日常生活の様々なことが制限されてきたこの1年でした。だからこそ、今年は何としても形ある総会を実施したいと、近藤会長や同窓会執行部の皆さんと議論をしながら準備を進めてきました。講演は関良基さん(86期・拓殖大学教授・赤松小三郎研究会会員)に、「日本近代化の魁 赤松小三郎と松平忠固」という演題でお話しただく予定です。会場にお越し

2020年度も前年度に引き続き年会費納入推進キャンペーンを12月から3月末まで実施しました。今年度は初の試みで、69期と71期から82期の各期の役員がそれぞれの期の会員に対して納入促進を働き掛けるという体制で実施しました。結果としては、12月から3月末までに年会費を納入いただいた方は、全体で229人(前年度は272人)でしたがキャンペーン期の納入者は121人で全体の半数以上で成果があったと思います。また、納入者のうち初めての方も26人で昨年度の23人を上回りました。

初納入者が26人
年会費納入推進キャンペーン
会計長 関雄二(72期)

前年度の年会費実績は多くの長期前納もいただき265万4千円で予算(260万円)および昨年実績(258万2千円)とも超えることができました。しかし、納入総人数は508人で会報100号の配布数5060部の約1割という状況です。今年度の傾向としては、70期代は143人で前年度の115人、前々年度の117人を超えましたが、80期代は62人で前年度の83人を下回り、90期以降は32人で前年度の26人を6人上回ったという状況でした。今後も会員の皆様のご理解をいただき納入推進を図ってまいります。

新年会講演会を拜聴して

小山勇(92期)



大学野球 界の名物監督・島岡吉郎さんの熱血銘言を綴

ただけない方にもリモートでお楽しみいただけるよう、万全を期しています。どうかできるだけ多くの皆様にご参加いただくと、お願い申し上げます。

「なんとかせい! 島岡御大の置き手紙」を出版された丸山清光さんの講演を拝聴しました。人間力の育み方やチャンスの作り方などについて学べる貴重な講演でした。丸山さんが強豪集団の明大野球部で自らアンダースローに転向し凄まじい練習を積み、島岡監督がその努力を見抜いて選手起用したというエピソードや、「勉強も野球もしたい」を実現できる上田高校の野球の特色などのお話も印象的でした。

新たな教育システムの創造 松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社)ISM松実教育総合研究所

教育相談・教員養成講座・教育制度の研究
教養文化講演会・教育シンポジウム等を実践しています。

本校 埼玉県春日部市中央 1-55-15 <http://www.matsumi-gakuen.net>
理事長 松井 石根(60期) 学園長 松井寛 総務部長 松井豊

小諸市 松実学園天池キャンパス